

令和5年度採用の検察事務官からのメッセージ

検察事務官 I さん

皆さん、こんにちは。

私は、令和5年度に秋田地方検察庁に検察事務官として採用されました。

検察庁を志望したきっかけは、業務説明会で検察事務官の仕事を知ったことでした。それまで私は、法律に関して特に学んだことがなく、不安がありました。しかし、入庁後に、研修や教材を使いながら勉強する環境と制度が整っています。そのため、法律について詳しくない方でも心配はありません。

現在は、企画調査課で主に統計の業務を担当しています。統計業務は、各庁から送付されるデータを取りまとめ、事件の受理・処理に関する表を作成しています。しっかりと事務規程にのっとり、緻密な作業を求められるので、難しい部分もあります。しかし、困ったときは上司や先輩方が丁寧に一つ一つ指導してくれるため、非常に心強いです。

また、休暇制度・早出遅出制度も充実しているため、積極的に取得する動きがあり、ワークライフバランスを重視した柔軟な働き方が可能です。

さらに、これから様々な部署で経験を積むことにより、自分自身を高めていくことができる職場であると感じます。私自身、まだまだ勉強中ですが、先輩たちから多くのことを学び、検察事務官として成長していきたいと思えます。

令和5年度採用の検察事務官からのメッセージ

検察事務官 Tさん

みなさん、こんにちは。

私は、令和5年度に検察事務官として秋田地方検察庁に採用されました。

採用1年目の現在は、総務課の庶務係という部署に所属しています。庶務係では、職員の休暇取得の手続きや、電話交換、郵送物の取りまとめなど、幅広い内容の業務を行っています。

検察庁というと、「事件や捜査に関わる仕事」というイメージが強いかと思いますが、すべての部署がそうであるわけではありません。様々な分野の業務を経験することができるという点は、検察事務官の魅力のひとつであると感じています。

私は、今まで、法律の勉強は公務員試験の勉強でしか経験がありませんでした。しかし、検察庁では採用後の研修制度が充実しているため、入庁後にしっかりと知識を身につけることができます。業務内容に関しても、上司や先輩が親切に教えてくださるので心配はいりません。

また、職場の雰囲気は穏やかで、休暇も取りやすいので、非常に働きやすい環境だと思います。

検察庁の仕事に少しでも興味がある方は、ぜひ業務説明会などに参加し、検察庁のことをもっと知っていただけたらと思います。